

建築年度で耐震性をチェック

あなたの
お家は何歳
ですか？

大規模地震と建築基準法の変遷

建築基準法は、安全で安心して暮らせる社会を築くために、みんなで守らなければいけない、建物に関する最低限の基準を定めたものです。時代に応じた基準を柔軟に盛り込む改正が頻繁に行われており、特に大規模な地震災害とともに、建物の耐震基準も大幅に改正されてきました。みなさんがお家建てられた当時の建築基準と、現行の建築基準に大きな違いがないか、このチェック表で確認しましょう！

～チェック表の使い方～

- ・ 建築年度に赤線を引いて下さい。
- ・ 表の右側は、建築基準の中でも耐震性に関する項目です。
- ・ 赤線より上の部分が、あなたのお家に適用されている建築基準です。
- ・ 逆に赤線より下の部分は、あなたのお家には適用されていない項目です。
- ・ 背景の色と右側の表を照らし合わせて、建築年度から判断する耐震性の判定を行なって下さい。

判定

- 補強計画よりも、建て替えをお勧めします。
- 現行の建築基準と大幅に異なっています。専門家による耐震性のチェックをして下さい。
- 壁量不足の可能性が高いと思われます。一応専門家による耐震性のチェックをして下さい。
- 壁量は十分ですが、接合部や壁の配置バランスの改善が必要な可能性があります。
- 現行の建築基準です。

あなたのお家の建築年度に赤線を引いてみましょう！

年	地震年表	建築基準の変遷	建築基準の変遷							
			基礎	壁の量	筋交い	壁の配置バランス	接合部			
1940										
1942		1920年 市街地建築物法施行								
1944		1924年 市街地建築物法の大改正								
1946										
1948	1948年 福井地震 (M7.1)									
1950		1950年 建築基準法制定 壁量の規定								
1952										
1954										
1956										
1958		1959年 建築基準法改正 壁量の強化								
1960										
1962										
1964	1964年 新潟地震 (M7.5)									
1966	1965年 十勝沖地震 (M7.5)									
1968										
1970		1971年 建築基準法改正 基礎の布基礎化								
1972										
1974										
1976										
1978	1978年 宮城県沖地震 (M7.4)									
1980		1981年 建築基準法改正 壁量の再強化								
1982										
1984										
1986										
1988										
1990										
1992										
1994	1995年 兵庫県南部地震 (M7.3)									
1996										
1998										
2000	2000年 鳥取西部地震 (M7.3) 2001年 芸予地震 (M6.7) 2003年 三陸南地震 (M7.0) 宮城県北部連続地震 (M6.4) 十勝沖地震 (M8.0)	2000年 建築基準法改正								

